

日本センチュリー交響楽団

舞鶴公演



2025
12/7 (日)

15:30 開演 (15:00 開場)

舞鶴市総合文化会館 大ホール



プログラム

ウェーバー/歌劇「オベロン」序曲 J.306

ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 Op.18

ドヴォルザーク/交響曲 第9番 ホ短調「新世界より」Op.95

「リハーサル見学」の
ご案内

チケットご購入の方に限り、演奏会当日の
リハーサルが見学できます。時間は要問い合わせ。

入場料
(全席指定)

S席 一般/3,500円 高校生以下/1,500円

A席 一般/2,500円 高校生以下/1,000円 [各税込]

【友の会】S席のみ1割引。1会員様1枚まで。

※未就学のお子様はご入場いただけません。

※託児サービスあり。有料、要申込み (11/30 まで)

©井上嘉和

発売日

【友の会】9月6日(土)

会館窓口 9:00~ 電話予約 13:00~

【一般発売】9月13日(土)

会館窓口 9:00~ 電話予約・プレイガイド・オンライン 13:00~

チケット
取扱い

舞鶴市総合文化会館/エール東舞鶴店(5階) / パザールタウン舞鶴/

パザールタウン後部アスバ/にしがき全店 (受付時間各店 17:15 まで)

【ローソンチケット】Lコード: 56655

【オンラインチケット】<https://www.s2e-get.jp/maizuru/pt/>



◆この事業は第2次舞鶴市文化振興基本計画に基づいて実施します。



競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>



©Herbie Yamaguchi

【指揮】

佐々木 新平 Shimpei Sasaki, Conductor

秋田県出身。東京学芸大学を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。飯守泰次郎、秋山和慶、小泉ひろしの各氏に師事。その後ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選拔され、J.バヌラら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりドイツミュンヘンへ留学しさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいては本選最終の8人に選出。これまで日本センチュリー交響楽団をはじめ国内主要楽団に客演。2015-19年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイト・コンダクター。2021-24年ヤマハ吹奏楽団常任指揮者を経て現在名誉指揮者。2024年11月東京吹奏楽団正指揮者に就任。現在オーケストラを中心にあらゆるシーンで才能を発揮。そのほか多彩なイベントやレコーディングの指揮、ワークショップの開催、テレビ、ラジオ、映画への出演に至るまで多方面に活動の幅を広げている。



©Ayustet

【ピアノ】

阪田 知樹 Tomoki Sakata, Piano

2016年フランク・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリンピックでは日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20ヵ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を2022年5月に、「夢のあとに」を2023年7月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ」が23年11月に音楽之友社より出版。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞を受賞。



©井上嘉和

【管弦楽】

日本センチュリー交響楽団

Japan Century Symphony Orchestra

街に響く。心に届く。

1989年に発足、大阪府豊中市を拠点に活動するオーケストラ。

2025年4月より久石譲が音楽監督に就任、名誉ミュージックアドバイザーに秋山和慶を擁す。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会、豊中市立文化芸術センターでの「豊中名曲シリーズ」を開催。教育プログラムや地域連携事業にも力を入れ、依頼公演、室内楽コンサート、アンサンブル等を合わせて年間200回を超える公演を行っている。飯森範親指揮「ハイドン交響曲集Vol.1」（他複数）等がレコード芸術特選盤に選出、大阪府文化祭奨励賞受賞（2015年度、2018年度）など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。「伝統と革新～未来をつなぐ音楽を～」をスローガンに掲げ、音楽を通じて地域と未来を結ぶ架け橋として進化し続けることを目指す。2024年12月に楽団創立35周年を迎えた。

オフィシャル・ホームページ
<https://www.jcso.or.jp>

